

# NIT NEWS

## 特集『新入生』

学園だより

vol.159

名古屋工業大学は、「ひとづくり・ものづくり・未来づくり」を  
理念・目標とする工科大学構想を推進しています。



特集『  
新入生』

- 01 学長あいさつ
- 02 クラス担当委員名簿
- 04 クラス担当委員から  
下村 吉治(生命・物質工学科)  
田川 正人(機械工学科)
- 05 卒業生から新入生へ  
二村 孝二(物質工学専攻)  
菅見 公則(材料工学科)
- 06 キャンパスミーティング
- 07 学生表彰一覧
- 08 学位記授与式
- 08 低学年向け就職セミナー
- 09 第2回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)全国大会 ビジネス部門大賞・経済産業大臣賞
- 09 名古屋工業大学100周年記念産学官連携フォーラム in 東京
- 10 学生なんでも相談室・学習相談室
- 11 保健センター
- 12 キャンパスマップ(駐車場・駐輪場)
- 13 学生センター案内
- 裏表紙 キャンパス・ダイアリー



## 新入生諸君、入学おめでとう!!

学長 松井 信行

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。本学は昨年百周年を迎え、次の百年に向けて異分野との融合によって新しい工学を創り出す知の拠点としての新しいスタートを切りました。ここに至るまでの長い歴史を持つ名古屋工業大学の先輩諸氏は学界、産業界あるいは政界で精力的な活躍をしておられます。先輩諸氏の活躍のおかげで、就職に関する心配は全くありません。

皆さんにはこの大学で、工学の専門知識を武器に社会人としての高い倫理観を備えた社会人に成長して欲しいと思います。学部生はそれぞれの工学プログラムに従って専門的な工学の体系を順次積み上げて学習し、大学院生は専門知識をより深める道を歩む人もいるでしょう。新たな複合的な分野の研究に踏み込む人もいるでしょう。いずれにしても、今日から皆さんは、われわれ教職員とともに、先輩諸氏に続く人材として、この大学で新しい工学的な価値を作り出す素晴らしい毎日を通

ごすことになるのです。

世の中の変化のテンポが昔に比べてずっと早くなりましたが、そうは言っても「学生時代」が時間的にきわめて裕福な時期であることに変わりはありません。この時期を有効に用いて、将来の自分が社会人として独立するために工学という学問にじっくり取り組むことはもちろん、インターンシップなどを通じて自分の能力や好みを社会にどのように役立てていくのが良いのかという回答を見つけてください。また、クラブ活動などの課外活動を通じて年代、環境、思考背景の違う人たちの中で、自分自身の醸造を図ることもきわめて大切なことです。そして自分自身の生き方、考え方を表明する手段として、語学とネットワークのスキルを磨き上げておくことをお勧めします。特に、語学については、それを通じてその背景にある社会、歴史、文化にまで及ぶ大きな捕らえ方をすることを望みたいと思います。

## 名古屋工業大学の基本構想 工科大学構想

本学が、世界のものづくりの中心地である中京地区の工学リーダーとして、技術イノベーションと産業振興を牽引するにふさわしい高度で充実した教育研究体制を整備し、国内の工科大学のみならず、世界の工科大学と連携することにより、工科大学の世界拠点として、異分野との融合による新たな科学技術を創成し、有為の人材を数多く世に送り出そうとする構想です。

工科大学構想を実現するための教育研究理念

## ひとづくり

市民としての的確な倫理感覚に裏打ちされた人間性豊かな技術者の養成を目指します。

## ものづくり

21世紀の工学を先導し、ものづくり技術を地域社会に還元するとともに、地域におけるものづくりの知的源泉となることを目指します。

## 未来づくり

人類の繁栄と地球環境の保全など、21世紀の中心課題を解決するための新しい工学を創生し、人類の幸福と国際社会の福祉に貢献することを目指します。

## 第一部・第1年次 01

学 科	クラス	職名	氏 名	内線番号	連絡場所
生命・物質 工学科	a	助教授	猪 股 克 弘	5274	2号館1116B号室(11階)
		助手	杉 本 英 樹	5270	2号館1112B号室(11階)
	b	助手	平 下 恒 久	5626	19号館401号室(4階)【注:H18.6まで】
		助手	古 谷 祐 詞	未定	未定
	c	教授	下 村 吉 治	5198	19号館236号室(2階)
		助手	水 野 稔 久	5237	17号館439号室(4階)
環境材料 工学科	d	助教授	大 門 啓 志	5286	2号館1014B(10階)
		助手	籠 宮 功	7368	2号館504A(5階)
	e	教授	林 昭 二	5308	1号館B棟720B号室(7階)
機械 工学科	f	教授	北 重 公	5150	53号館218A号室(2階)
		助手	磯 部 雅 晴	5371	2号館705B号室(7階)
	g	教授	渡 邊 義 見	5624	3号館828号室(8階)
		助手	林 高 弘	5338	3号館818号室(8階)
	h	教授	田 川 正 人	5343	11号館322号室(3階)
		助手	武 澤 伸 浩	5398	2号館824B号室(8階)
電気電子 工学科	i	教授	壬 生 攻	7904	21号館407号室(4階)
		助手	青 柳 倫 太 郎	5419	1A号館504号室(5階)
	j	教授	神 藤 久	5431	6号館504号館(5階)
		助教授	安 井 晋 示	5427	6号館312号室(3階)
k	教授	藤 原 修	5421	6号館820号室(8階)	
	助手	蛭 子 博 志	5154	53号館214A号室(2階)	
情報 工学科	l	教授	松 尾 啓 志	5446	20号館508号室(5階)
		助教授	津 邑 公 暁	未定	未定
	m	教授	伊 藤 英 則	5469	2A号館324号室(3階)
		助教授	中 村 剛 士	5475	2A号館320号室(3階)
	n	教授	岩 田 彰	5423	20号館502号室(5階)
		助教授	黒 柳 奨	5458	20号館510号室(5階)
建築・デザイン 工学科	o	教授	堀 越 哲 美	5509	11号館406号室(4階)
	p	助教授	北 川 啓 介	5520	24号館102号室(1階)
都市社会 工学科	q	助教授	秀 島 栄 三	5586	24号館219号室(2階)
		助手	海老澤 健 正	5021	24号館206号室(2階)
	r	助教授	鷺 見 克 典	5399	2号館918B号室(9階)
		助手	横 山 淳 一	5402	2号館804B号室(8階)

## 第一部・第2年次 02

学 科	クラス	職名	氏 名	内線番号	連絡場所
生命・物質 工学科	DWa	教授	高 橋 清 久	5262	2号館924A号室(9階)
		助手	永 田 謙 二	5257	2号館918A号室(9階)
	DWb	助教授	小 澤 智 宏	5249	17号館352号室(3階)
		助手	中 村 修 一	5245	17号館418号室(4階)
	DWc	教授	大 谷 肇	7911	1号館808A号室(8階)
		助教授	北 川 慎 也	5368	1号館806A号室(8階)
環境材料 工学科	材料機能	教授	土 井 稔	5301	1号館B棟818B号室(8階)
		助教授	小坂井 考 生	5317	1号館B棟822B号室(8階)
	セラミックス	教授	田 中 清 明	5162	2号館1024B(10階)
		助手	横 田 社 司	5290	2号館520A(5階)
機械 工学科	MEa	教授	一 瀬 郁 夫	5409	53号館212A号室(2階)
		助手	渡 邊 威	5061	2号館422B号室(4階)
	MEb	助教授	糸魚川 文 広	5356	3号館720号室(7階)
		助手	大 羽 達 志	5352	3号館1009号室(10階)
	MEc	助教授	古 谷 正 広	5355	3号館406号室(4階)
		助手	保 浦 知 也	7795	11号館324号室(3階)
電気電子 工学科	EEa	助教授	曾 我 哲 夫	5532	11号館508号室(5階)
		助教授	安 部 功 二	5418	6号館718号室(7階)
	EEb	教授	鷓 飼 裕 之	5451	16号館328号室(3階)
		助手	川 福 基 裕	5464	6号館306号室(3階)
	EEc	助教授	榊 原 久 仁 男	5416	6号館1102号室(11階)
		教授	桜 井 優	未定	未定
情報 工学科	CSa	教授	石 橋 豊	5440	6号館808号室(8階)
		助教授	菅 原 真 司	5300	18号館307号室(3階)
	CSb	教授	新 谷 虎 松	5471	2A号館206号室(2階)
		助手	大 園 忠 親	5467	2A号館202号室(2階)
	CSc	教授	徳 田 恵 一	5404	2A号館406号室(4階)
		助手	南 角 吉 彦	5474	2A号館402号室(4階)
建築・デザイン 工学科	建築	助教授	趙 衍 剛	5200	24号館305号室(3階)
	デザイン	教授	藤 岡 伸 子	5182	17号館332号室(3階)
都市社会 工学科	環境都市	助教授	中 井 照 夫	5485	16号館228号室(2階)
		助手	檜 尾 正 也	7157	16号館230号室(2階)
	政策経営	教授	中 出 康 一	5397	2号館908B号室(9階)
		助手	太 田 豊	5389	16号館305号室(3階)

## 第一部・第3年次 03

学 科	クラス	職名	氏 名	内線番号	連絡場所
生命・物質 工学科	DWa	教授	嶋 田 繁 隆	5263	2号館811A号室(8階)
		助手	山 本 勝 宏	5277	2号館809A号室(8階)
	DWb	助教授	加 藤 禎 人	5242	1号館306B号室(3階)
		助教授	川 崎 晋 司	5221	17号館444号室(4階)
	DWc	助教授	山 下 啓 司	5243	17号館216号室(2階)
		助教授	堀 克 敏	5214	1号館412B号室(4階)
環境材料 工学科	材料機能	教授	隅 山 兼 治	5124	1号館A棟708A号室(7階)
		助教授	濱 中 泰	7197	1号館A棟706A号室(8階)
	セラミックス	教授	野 上 正 行	5285	2号館602A(6階)
		助手	早 川 知 克	5110	2号館606A(6階)
機械 工学科	MEa	教授	斐 鐘 石	7689	2号館514B号室(5階)
		助手	濱 口 孝 司	5561	2号館318B号室(3階)
	MEb	教授	水 野 直 樹	5339	3号館1024号室(10階)
		助手	藤 井 郁 也	5363	3号館924号室(9階)
	MEc	教授	辻 俊 博	5333	11号館320号室(3階)
		助手	牛 島 達 夫	5358	3号館618号室(6階)
電気電子 工学科	EEa	助教授	江 籠 修	5447	6号館716号室(7階)
		助手	杉 江 紘	5449	21号館508号室(5階)
	EEb	助教授	岩 崎 誠	5455	6号館304号室(3階)
		助手	青 木 睦	7231	16号館324号室(3階)
EEc	教授	王 建 青	5457	6号館816号室(8階)	
	助手	後 藤 富 朗	5190	6号館910号室(9階)	
情報 工学科	CSa	教授	田 坂 修 二	5422	20号館602号室(6階)
		助手	布 目 敏 郎	7785	20号館610号室(6階)
	CSb	教授	中 野 良 平	5590	2A号館424号室(4階)
		助手	北 越 大 輔	7598	2A号館418号室(4階)
	CSc	教授	佐 藤 淳	7138	20号館216号室(2階)
		助手	天 野 敏 之	7133	20号館208号室(2階)
建築・デザイン 工学科	建築	助教授	梅 村 恒	5205	16号館
	デザイン	助教授	石 松 丈 佳	7597	17号館3階336号室(3階)
都市社会 工学科	環境都市	助教授	藤 田 素 弘	5492	11号館424号室(4階)
		助手	鈴木 弘 司	7962	11号館420号室(4階)
	政策経営	助教授	神 田 幸 治	5244	16号館302号室(3階)
		助手	小 島 貢 利	5403	2号館904B号室(9階)

## 第一部・第4年次 04

学 科	クラス	職名	氏 名	内線番号	連絡場所
応用 化学科	Da(過年度)	助手	安 井 孝 志	5248	1号館312B号室(3階)
		助教授	柴 田 哲 男	7543	17号館414号室(4階)
材料 工学科	(過年度)ZW	教授	嶋 田 繁 隆	5263	2号館811A号室(8階)
		助手	山 本 勝 宏	5277	2号館809A号室(8階)
	(過年度)ZY	教授	五 味 學	5279	2号館524A号室(5階)
		助教授	橋 本 忍	5291	2号館713A(7階)
(過年度)ZK	教授	西 野 洋 一	5306	1号館B棟804B号室(8階)	
	助手	井 出 直 樹	5311	1号館B棟808B号室(8階)	
機械工学科	(過年度)	教授	中 村 隆	5336	3号館722号室(7階)
生産システム 工学科	(過年度)	助教授	内 藤 隆	5283	2号館B棟420B(4階)
		助手	石 井 成	5468	2号館A棟814A(8階)
電気情報 工学科	(過年度)	助教授	岡 本 英 二	5452	6号館1008号室(10階)
		助教授	ニラウ マダン	5605	6号館704号室(7階)
		助教授	平 田 晃 正	7916	6号館814号室(8階)
		助手	不 破 勝 彦	5444	6号館502号室(5階)
		教授	佐 藤 淳	7138	20号館216号室(2階)
		助手	細 川 宣 秀	5450	1A号館710号室(7階)
知能情報 システム学科	(過年度)	教授	内 匠 逸	5472	2号館224号室(2階)
		助手	船 瀬 新 王	7179	2号館218号室(2階)
社会開発 工学科	(過年度)Sa	教授	河 田 克 博	5512	24号館420号室(4階)
		助教授	藤 田 素 弘	5492	11号館424号室(4階)
	(過年度)Sc	助教授	鈴木 弘 司	7962	11号館420号室(4階)
		教授	立 光 斉	5161	16号館532号室(5階)

## 第二部・第4年次 04

学 科	職名	氏 名	内線番号	連絡場所
応用化学科	教授	多 田 豊	5231	1号館406B号室(4階)
	助手	岩 田 修 一	5256	1号館408B号室(4階)
機械工学科	助教授	望 山 洋	7443	21号館420号室(4階)
電気情報工学科	助教授	大 原 繁 男	5156	21号館206号室(2階)
	助手	高 義 礼	5413	6号館810号室(8階)
社会開発工学科	助教授	北 野 利 一	5498	24号館319号室(3階)

## 第二部・第1年次 01

学 科	職名	氏 名	内線番号	連絡場所
物質工学科	助教授	高 田 主 岳	未定	1号館211B号室(2階)
	助手	柳 生 剛 義	5211	17号館340号室(3階)
機械工学科	助教授	内 藤 隆	5383	2号館420B号室(4階)
電気情報工学科	教授	前 田 雅 輝	5432	1A号館506号室(5階)
	助教授	石 川 博 康	5092	22号館234号室(2階)
社会開発工学科	教授	富 永 晃 宏	5490	24号館347号室(3階)

## 第二部・第2年次 02

学 科	職名	氏 名	内線番号	連絡場所
物質工学科	助教授	奥 淳 一	5236	17号館440号室(4階)
	助教授	山 村 初 雄	5246	19号館524号室(5階)【注:H18.6まで】
機械工学科	助教授	佐 伯 義 隆	5334	3号館724号室(7階)
電気情報工学科	助教授	小 坂 卓	5296	6号館210号室(2階)
	助手	加 藤 正 史	5581	6号館513号室(5階)
社会開発工学科	助教授	永 田 和 寿	5482	24号館202号室(2階)

## 第二部・第3年次 03

学 科	職名	氏 名	内線番号	連絡場所
物質工学科	教授	森 秀 樹	5233	1号館410B号室(4階)
	助手	長 津 雄 一 郎	7696	1号館418B号室(4階)
機械工学科	助教授	坂 口 正 道	7144	3号館1122号室(11階)
電気情報工学科	助教授	森 田 良 文	5412	6号館508号室(5階)
	助手	平 山 裕	5448	6号館1108号室(11階)
社会開発工学科	教授	山 本 幸 司	5484	24号館218号室(2階)

## 第二部・第5年次 05

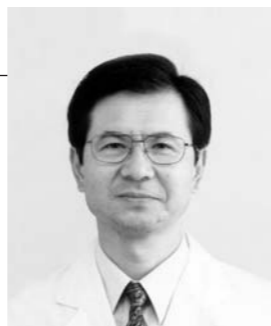
学 科	職名	氏 名	内線番号	連絡場所
応用化学科	講師	出 羽 毅 久	5144	17号館222号室(2階)
機械工学科	教授	中 村 隆	5336	3号館722号室(7階)
電気情報工学科	助教授	平 野 智	5454	6号館914号室(9階)
	助教授	伊 藤 嘉 浩	5572	20号館608号室(6階)
社会開発工学科	過年度生は4年次担当者、その他は指導教員			

クラス担当委員から **Message**

生命・物質  
工学科

困ったことがあったら気軽に訪ねてください。

cクラス  
下村 吉治



新入生の皆さん、名古屋工業大学への入学おめでとうございます。皆さんは、これまで受験の環境におかれて、緊張した生活を送ってきた人が多いと思います。そして今、その受験から解放されて、非常にリラックスした気分と、同時にこれからの大学生活への少しの不安とが入り交じった、複雑な心境ではないでしょうか。

まず、皆さんを元気づけるために一つ言いたいのは、名古屋工業大学に入学したことに誇りを持ってほしいことです。ほとんどの人が、今新しい社会生活のスタート点にたっています。これからの生活が、皆さんの将来に大きく影響します。名古屋工業大学は、皆さんが社会に出て活躍できるようにするための教育や研究を行える環境がほぼ整って

います。したがって、この大学で勉学できることのメリットを十分に吸収してほしいと思っています。

しかし、それをどのようにしたらよいかなどさまざまな疑問があると思いますので、その問題を相談できるようにしてあるのが、このクラス担当の制度です。すなわち、クラス担当はこれまでの中学や高校における学級担任です。

私は、部cクラスを担当しますので、そのクラスの人は気軽に相談にきてください。もちろん、勉学のことだけでなく、よろず相談に応じます。一人で悩むのが最も悪い結果を生み出す可能性が高いので、お気軽にどうぞ!

機械  
工学科

未知なる海へ

hクラス  
田川 正人



ご入学おめでとうございます。

気どったタイトルになってしまいましたが、これは皆さんのように優秀な若者に私が期待することです。若さとは、爽やかさや瑞々しい感覚だと思います。桜と入学式を目にすると、一瞬にして私にも若さの感覚が蘇ってきます。しかし、残念なことに、30年近い年月を経た今日では、その感覚が短時間で薄れてしまいます。皆さんには薄れることのない本物の若さがあります。世の中に「夢」という言葉が氾濫していますが、私は、無理に「夢」で自分の未来を彩る必要はないと思います。若さそのものが皆さんの特権であり、夢の源泉です。古い話になりますが、私の少年時代は、人類を月に送るアポロ計画をはじめ、カラーテレビの実現などま

さに夢のような科学技術の成果で溢れていました。翻って現代は科学技術が見えない時代とも言われています。確かにそうかもしれません。しかし、私は、今日ほど、科学技術に若さが求められる時代はないと感じています。資源枯渇や環境破壊は極めて深刻な問題ですが、若い皆さんにとっては大きなチャンスの到来です。ぜひ、多くの本を読み、勉学に励み、問題を解く喜びを味わい、どんな小さなことでもよい、誰も知らないことを発見してほしい。その機会を与えてくれる場が大学です。未知なる海へ果敢に漕ぎ出される皆さんを名工大の一員として応援しています。



卒業生から  
新入生へ **Message**

物質工学  
専攻修了

6年間の大学・大学院生活を振り返って

工学研究科博士前期課程 物質工学専攻修了 二村 孝二



新入生のみなさん、入学おめでとうございます。長い受験勉強を終えてほっとしている人も多いと思います。私は2000年に旧応用化学科(現 生命・物質工学科)に入学し、今年3月に大学院を卒業しました。早速ですが、6年間の大学・大学院生活を振り返り、学生生活で感じたことを書かせていただきます。

思えば大学に入学した頃は、新しい生活に対する不安でいっぱいでした。実際、大学のカリキュラムは高校と比べて専門科目が多く、講義についていくのに苦労しました。学部3年までは学業とバイトを両立した日々を送っていましたが、学校に拘束される時間が少なく、今振り返ればもっと多くのことに挑戦できたのではないかと思います。

4年次からは研究室に配属され、研究室での活動が生活の中心となり、修士2年までの研究室の生活では、様々な経験をすることができました。研究面では、イギリス、韓国で開催された国際学会で発表をさせていただきました。

自分の気持ちを相手に伝えるのに苦労し、英語力をもっと磨かなくてはと痛感させられましたが、世界の多くの人たちと出会い、異文化に触れ、貴重な体験ができたと思います。研究面以外では、研究室の仲間とソフトボールなどのスポーツをしたり、来日した韓国の学生との交流を深めたりと充実した日々を送ることができたと思います。

私は多くの人に助けられて6年間の大学・大学院生活で様々な経験をすることができたと思います。その過程では、常に何らかの目標を持ち、試行錯誤しながら自分で行動することが大切だと実感しました。

これから新しく大学生活を始めるみなさんも、周りから何かをされるのを待つのではなく、自ら行動し、充実した大学生活を送ってください。

材料工学科  
卒業

苦あれば楽あり

筈見 公則



大学四年間を振り返って、ただただ思う事。それは、たいへんだった…この一言に尽きると思います。しかしその分得たものは計り知れないものであり、今後の人生に大きく影響すると思います。ここでは、そんな僕の大学四年間を書きたいと思います。

平成14年度、材料工学科(現 環境材料工学科)に入学し講義・レポート・バイトにあくせくする毎日を送っていました。そんな中、ヨット部という高校ではあまり一般的ではない部活に出会いました。ヨットは風を使い走る乗り物であり、レースを行う際には特に決まったコースが無く、誰よりも早く走った人が勝ちといった極めてシンプルなルールの競技です。このヨットに出会って僕の大学生活は一変しました。平日は土日の兼寄せのため講義・レポート・バイトに追われ、土日はヨット…こんな生活は自分でいうのもなんですが、かなりしんどく体調も度々

崩しました。しかし、それと同時にそれまでには無かった、充実感というものが得られました。ヨットは大学から始める学生が多く努力さえすれば、全国に出るのも夢ではありません。現に四年時には、全日本選手権にも出場させてもらい九州へ遠征にも出向きました。このような形であわただしく日常が過ぎ、気づけばもう卒業することになりました。来年度は大学院に皆様と同じように入学しますが、又こんな充実した日々を過ごせたらと思います。最後に一言偉そうな事を言わせて下さい。「楽、それが全力への秘訣」何事も楽しく取り組めば、得るものはあるし、後悔しない生活が送れると思います。

それでは、充実した学生生活を送ってください。拙い文章でしたが、最後まで読んで頂きありがとうございました。

## NITキャンパスミーティングを実施

名古屋工業大学は、2月14日、学生中心の大学づくりを目指す一環として、大学の授業内容・方法や学生生活に関する事項などについて、学長と学生の意見交換の場を設けることを目的とし、初めて「NITキャンパスミーティング」を開催した。

当日は、各学科・専攻の推薦による大学院生、学部生、社会人学生、外国人留学生及び課外活動団体のクラブ員並びに第一部・第二部自治会委員長など、合わせて43名の学生の参加があった。

始めに松井学長から、創立100周年に関する行事の説明や今後の大学の将来構想の話、続いてクラブ活動の効用の話の後、学生との活発な意見交換がなされた。

参加した学生から課外活動支援の充実や学生の生活マナーの向上等について積極的な意見が出され、これらについて検討して、後日回答する事になる等、有意義なミーティングとなった。

なお、このキャンパスミーティングは、今後も定期的で開催することになった。



## 平成17年度 学生表彰一覧

### ■ 学長表彰

(学術研究活動部門)

番号	所 属	氏 名	受 賞 名
1	大学院博士後期課程 物質工学専攻 3年	角 同 勉	2004JCerSJ優秀論文賞( PacRim5特別賞 )
2	大学院博士前期課程 物質工学専攻 2年	藤 堂 佑 介	アメリカセラミックス協会電子材料部会ベストチューデントポスター賞
3	大学院博士前期課程 情報工学専攻 2年	多 賀 大 泰	あいちITS研究企画コンテスト 最優秀賞
4	大学院博士前期課程 社会工学専攻 2年	三 輪 祐 仁	おかやまUDアイデア・図画コンテスト・いきいきふれあいフェスティバル賞( 倉敷市長賞 )
5	大学院博士前期課程 産業戦略工学専攻 2年	鍵 井 清 幸	第2回キャンパスベンチャーグランプリ( CVG )全国大会ビジネス部門大賞・経済産業大臣賞
6	第一部システムマネジメント工学科 4年	小 松 原 康 弘	第7回理工系学生科学技術論文コンクール優秀賞
7	第一部社会開発工学科 3年	伊 藤 香 織 岩 浪 こ ゆ き	2005年日本国際博覧会特別企画 1st7学生設計国際コンテスト/国際ワカヨッパ 第1位

(課外活動部門)

番号	団 体 名	区 分	大 会 名
1	ボート部	個人( 澤 津 貴 弘 )	第83回全日本選手権大会 シングルスカル 第3位 他
2	ボート部	団体( 西 雪 健 次 郎 下 手 貴 史 )	第32回全日本大学選手権大会 ダブルスカル 第6位
3	ヨット部	個人( 窪 田 竜 哉 )	全日本ヨット選手権大会 シングルハンドレガッタ 第5位
4	航空部	個人( 日 比 野 誠 司 )	2005年 おおのローズカップ大会 優勝
5	ロボコン工房	団体	NHK大学ロボコン2005 - ABUアジア・太平洋ロボコン代表選考会 アイデア賞
6	S-EV(ソーラーカー部)	団体	第5回ソーラーフェスティバルin 神戸空港2005 Cクラス ラリー 1位
7	ロボコン工房	個人( 宇 都 宮 正 和 )	第8回ロボットグランプリ・ロボットランサー競技 デザイン賞

### ■ 学生部長表彰

番号	団 体 名	区 分	大 会 名
1	陸上競技部	個人( 加 藤 雄 貴 )	第54回東海地区国立大学体育大会 種目:5000m 優勝
2	陸上競技部	個人( 石 井 歩 )	第54回東海地区国立大学体育大会 種目:3000m 準優勝
3	馬術部	団体	第54回東海地区国立大学体育大会( 馬術部門 ) 準優勝
4	ボート部	団体	第34回中部学生新人選手権競漕大会、男子舵手付きフォア 優勝
5	ヨット部	団体	平成17年度 秋季中部学生ヨット選手権大会( 国際スナイプクラス ) 第1位
6	ヨット部	個人( 筈 見 公 則 田 中 優 )	平成17年度 中部学生ヨット個人選手権大会( 国際スナイプクラス ) 優勝
7	ライフル射撃部	個人( 伊 藤 正 都 )	第23回中部学生ライフル射撃伏射大会 10m エアーライフル伏射競技 60発 優勝
8	ライフル射撃部	団体	第34回中部学生ライフル射撃3姿勢大会 10m エアーライフル 3x20 準優勝
9	自動車部	団体	2005年度全中部学生ジムカーナ選手権大会 優勝



学生部長表彰者



学長表彰者

### 材料工学科 3年 窪田 竜哉

昨年の蒲郡市海陽ヨットハーバーで行われた全日本学生ヨット選手権大会シングルハンドレガッタで第5位の成績を収めることができ、このたび学長表彰をいただきました。さらにヨット部として、2005年度秋季中部学生ヨット選手権大会国際スナイプクラス優勝によって学生部長表彰をいただくことができました。このように高く評価をして頂いて大変うれしく思っております。今回このような素晴らしい機会をいただき今後の励みとなりました。これからはさらに良い成績を目指し、ヨット部一同熱心に練習していききたいと思います。



■ 平成17年度学位記授与式を挙

Nagoya Institute of Technology

3月23日(木)、名古屋市公会堂において、教育類長、専攻長を始め関係者列席のもと、平成17年度名古屋工業大学学位記授与式が挙行された。

授与式では、名古屋工業大学管弦楽団による奏楽の後、松井学長から第一部卒業生906名、第二部卒業生140名に学士学位記が、大学院博士前期課程修了者578名に修士学位記が、後期課程修了者54名に博士學位記がそれぞれ授与され、式辞が述べられました。

また、物質工学専攻修了生の杉本美久さんが博士前期課程代表として、応用化学科卒業生の則竹瞬さん、安井宏有貴さんがそれぞれ第一部・第二部卒業生代表として、本学への感謝の気持ちと今後の抱負が述べられました。

その後、各学科の名古屋工業会賞受賞者の発表が行われ、名古屋工業会市川理事長より表彰状が授与されました。

卒業、修了を迎えた誰もがこれまでの大学生活を思い出し、また、これから進む道への思いを新たに、巣立っていたことでしょう。



■ 低学年向け就職セミナー

Nagoya Institute of Technology

キャリアオフィス長 甲村 和三

低学年向け就職セミナーが2月21日開催された。早い時期からキャリア意識をもち、職業人として自分の将来に向かって計画的に歩み始めることは重要である。こうした意図で、二人の講師による講演を聞いた。毎日コミュニケーションズの浅川克之氏は『キャリアデザイン入門講座』と題して、社会人になること、自分を知ること、仕事を知ること、自分を高めることについて熱弁を振るわれた。景気回復後も量より質に重きを置く求人動向、学生自身の自己像と企業が求める人物像にはズレがあること、自由応募が増えていることなど現況解説の後、低学年のこの時期には、まず自分を知ることが重要と説く。その上で将来の自分を見据え、就きたい仕事に関する情報収集のポイントなどが語られ、大学生活でのスキルアップの勧めで講演の締めとされた。

日経名古屋販売開発(株)の鈴木健次氏の講演は『新聞の読み方』であった。一般紙と違う業界紙の紙面構成、膨大な情報量をもつ新聞の見出し、リード、本文から成る記事構成の話とともに、短時間での情報収集のコツを教わり、大いに参考になったはずである。

2つの講演とも、もっと多くの学生諸君に聞いてもらいたい内容であった。試験期間終了後という期日の故かもしれない。テーマを縁遠く感じてのことかも知れない。キャリア意識形成の活動は、本来、既に始められているはずであり、学生諸君の喚起を促したい。



■ 第2回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)全国大会ビジネス部門大賞・経済産業大臣賞受賞

Nagoya Institute of Technology

鍵井 清幸さん(大学院工学研究科)

博士前期課程 産業戦略工学専攻2年の鍵井清幸さんが3月3日に開催された第2回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会(日刊工業新聞主催)においてビジネス部門大賞・経済産業大臣賞を受賞しました。

CVGは学生の優れた技術・事業プランを表彰して、企業家スピリットを支援している。全国大会は北海道、東北、東京、中部、大阪、中国、四国、九州の全国8地区で大賞などを受賞した10件の発表と審査を行った。

鍵井さんの研究の「GPS・カメラ搭載携帯電話を利用した写真海図ビジネス」は、小型船舶が航海中に海上で目標物を画像処理して、同時にGPSで位置確認するプランを考案。航海補助に役立つとともに、航海記録の蓄積にも貢献するサービスとして港湾サービス、海運会社、漁業関係等幅広い需要が期待されている。



(写真提供:日刊工業新聞)

■ 名古屋工業大学創立100周年記念産学官連携フォーラム in 東京

Nagoya Institute of Technology

本学は、創立100周年記念事業の一環として、1月27日(金)に東京都江東区青海の日本科学未来館において、産学官連携フォーラム『名工大とつくる「ものづくりの夢と未来」』を開催した。このフォーラムは、本学と手を携えて「新しいものづくり」にチャレンジしてくださる方々とのご縁をつくるべく開催したもので、企業等から約400人が参加した。

松井学長から、新しい次の100年に向けて、教育・研究など歩むべき方向性について、広く産業界からの意見を取り入れながら大学の在り方を検討していきたいとの挨拶の後、清水潔文部科学省研究振興局長、石丸典生(株)デンソー特別顧問(名工大研究協力会会長)から挨拶があり、続いて、本学の「ものづくりの種」である研究シーズの紹介(太田敏孝教授、木下隆利教授、梅崎太造教授)、「ものづくりの種を育てる名工大の新たな取り組み」である「プロジェクト研究所」の紹介(平井洋武教授)を行った。後半は、初代プリウス開発者で寄附講座にご尽力いただいているトヨタ自動車(株)内山田竹志代表取締役副社長による基調講演、本学OBの日本特殊陶業(株)加藤倫朗代表取締役社長、日立ピアメカニクス(株)上野健夫代表取締役社長、伊藤学司文部科学省研究環境・産業連携課技術移転推進室長・大学振興課大学改革推進室長をパネラーとして、「ものづくりの未来・名工大への期待」と題してパネルディスカッションを行った。

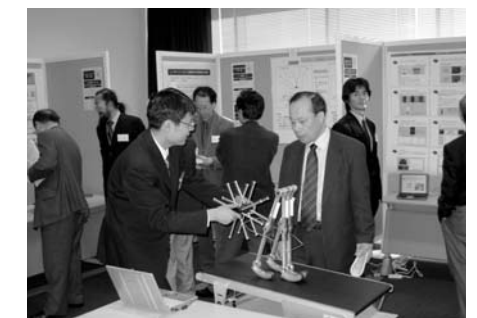
また、本フォーラムと並行して、「名工大テクノフェアがやってくる」と題して15名の教員の38の研究シーズを展示、多くのフォーラム参加者が最先端のシーズについて理解を深めていただく場となった。

フォーラム終了後は交流会を開催、フォーラム参加者の約200名が参加、下村和生文部科学省科学技術・学術政策局長(本学OB)、市川日出男名古屋工業会会長が挨拶し、本学の産業戦略工学専攻で非常勤講師を務める島幸子ソムリエが供するワインを手に、和やかな雰囲気のもと、産学官連携に関する情報交換が行われ、大変有意義なものとなった。

なお、11月2日、3日には「創立100周年記念国際フォーラム」を名古屋国際会議場で開催することとしている。



▲ パネルディスカッション



▲ 研究シーズ展示・説明

## 学生なんでも相談室・学習相談室 相談室から・・・おめでとう!!

学生なんでも相談室・学習相談室 室長 山下啓司

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんはこの名古屋工業大学に何を期待されて、今日この門をくぐられましたか? 「俺はノーベル賞を取るんだ!!」「日本のビルゲイツになるぞ!!」っていう勇ましい君から、「日本の産業を支え、温かい家庭を築きたいです。」なんていう、実直な君まで。大学は君たちがその思いを叶えることのできる場所と機会を提供します。名工大はそういった夢を叶えようと頑張っている、あるいは叶えた先輩達を、もう何万人も日本の産業界に送り出しているのです。君達も安心して、勉強、クラブ活動、アルバイトに励んでください。ただし、頑張るのは君たちですよ。これまでの中学校や高校のように、頑張らない生徒たちまでも何とか卒業させなくてはならないなんて発想は、大学には全くありませんからね。君達がさばれば、そのつけは、そう、君たちに降りかかってきます。すべからず自己責任の世界なんですよ。お気をつけくださいませよ!!



さて、君たちは大学生活をどうEnjoyしようと考えていますか? クラブやサークルに入りますか? アルバイト中心ですか?? それとも勉強一本やり?? いずれにしても、できるだけ早い時期に友達や先輩を作ってください。授業の取り方、各種手続きの仕方、もちろんそんな事は学科ガイダンスでも教えてくれますが、学生生活を送る上でもっとも重要な、でも学生にし

かわからない、情報や秘策、はたまた裏情報なんかは先輩や情報通の友達からしか入ってきませんよ。たくさん友達を作ってください。決して一人で考え込んだり、悩んだりしないようにしてくださいね。

もし何か分からないことや、心配事があったら、学生なんでも相談室にお越しください。新しくなった19号館東側の玄関から入って二階の学生部内に相談室があります。

ここで、そんな君たちに朗報があります。昨年末から本学に「先輩のいる学習室」が開室しました。学生会館2Fカフェテリア食堂の隣に9:00~18:00に開室しています。中には優しい、いろんな学科出身の大学院の先輩が居て(在室は毎日二時間程度)、君達のいろんな質問に答えてくれます。授業の選択、試験対策からアルバイトのこと、就職のことも・・・もちろん異性対策もね! なんでも相談に乗ってくれますよ。どんな先輩が居るのかは部屋の前に顔写真付きのシフト表が出ていますから確認してくださいね。君の学科の先輩も必ず見つけることができます。中々友達や先輩の作れない君達、是非一度、部屋を覗いてみてください。



## 保健センターからのメッセージ

保健センター長 粥川 裕平



寒い中でのセンター試験、前期・後期試験を突破された新入生の皆さん、また大学院に進学された皆さん、合格おめでとうございます。まずは、受験勉強、卒業研究の疲れが出ている時期ですので、十二分に心身の休息をとって新学期に備えていただきたいと思います。

保健センターは、正門入って右手の講堂の裏にある2階建ての白い建物です。

### 保健センターとは?

大学の全構成員の安全の確保、疾病の早期発見・早期治療、再発予防、発症予防を目指しています。保健センターは、医師、看護師、カウンセラーによる職員及び学生の健康管理などに関する業務を行っています。医師、看護師らによる診察・処置、健康相談や、定期健康診断、特殊健康診断と有所見者の事後措置などを実施しています。早速4月下旬に定期健康診断があります。

### 脅かされる健康問題 その1:生活習慣病

世界一の長寿国、世界一乳児死亡率の少ない日本は、もっとも健康度の高い国かと思われがちですが、実は深刻な健康危機に直面しています。受験勉強、就職難、業務の負荷で、ニートやフリーターが増加し、失業率が増大して、学生や勤労者のストレスは日増しに強くなっています。ストレス対処が上手くないと、過食(逆に拒食)、飲酒、運動不足、睡眠不足などにより肥満(逆に激やせ)、糖尿病、高血圧、高脂血症などの生活習慣病(最近ではメタボリックシンドロームといわれます)の若年化が急速に進行しています。男性ではウェスト85cm以上、女性では90cm以上の方は、保健センターに直ちに相談に来て下さい。

### 脅かされる健康問題 その2:うつ病

ストレスや睡眠不足で増加しているのがうつ病です。うつ病と自殺で年間2兆円の経済的損失になることが明らかになっています。うつ病とは、気分が憂うつである。

興味や喜びがなくなる。活力が減退し疲れやすく活動性が減退する。ことをいいますが、軽症のうつ病はこの3つの内、少なくとも2つが2週間以上続き、通常生活を続けるのが幾分困難である状態をいいます。大学生のうつ病の発病は、入学直後と卒業の時期に多く見られます。なぜなら入学直後は、受験勉強の疲れがどっと出る時期であるとともに、環境の変化が著しいことがあります。不本意な入学、独り暮らし、親元を離れる不安、孤独などが関連します。卒業時期は、卒業研究と就職活動を平行して達成しなければいけないという大変なストレスにさらされるからです。高校と違って気楽に相談できる担任の先生がいなかったり、研究室配属で、指導教授からハラスメントを受けたり、心理的に孤立無援になるとうつ病になり、自殺を考えるほど深刻になります。「消えてなくなったら楽」「なんで大学に入ったのか分からない」と考えるようになったら、直ちに保健センターに相談に来て下さい。

### 健康こそ最大の財産

グローバルに通用する工業製品開発とそれを可能にする知的資源の宝庫が大学です。知的財産と技術者・研究者を養成し、産業界に送り出し、人類の未来を明るくする使命が大学にはあります。産業界でも熾烈な国際競争の中で、うつ病や自殺が増えています。健康を基盤に置いたひとつづくりでないと、戦いに勝利することは出来ません。good sleep, regular recreationを軸にしたキャンパスライフを送って下さることを祈念しています。

当センターへのアクセスは、

【TEL】052-735-5108、【E-mail】health@ml.nitech.ac.jpへ、ご本人はもちろんご家族からでも結構です。

詳細は、名工大公式ホームページのセンター紹介 保健センター

<http://www-itolab.ics.nitech.ac.jp/tmp/safetyHealthCenter/consult/index.html>をご覧ください。

# Campus map

駐車場・駐輪場



体育館



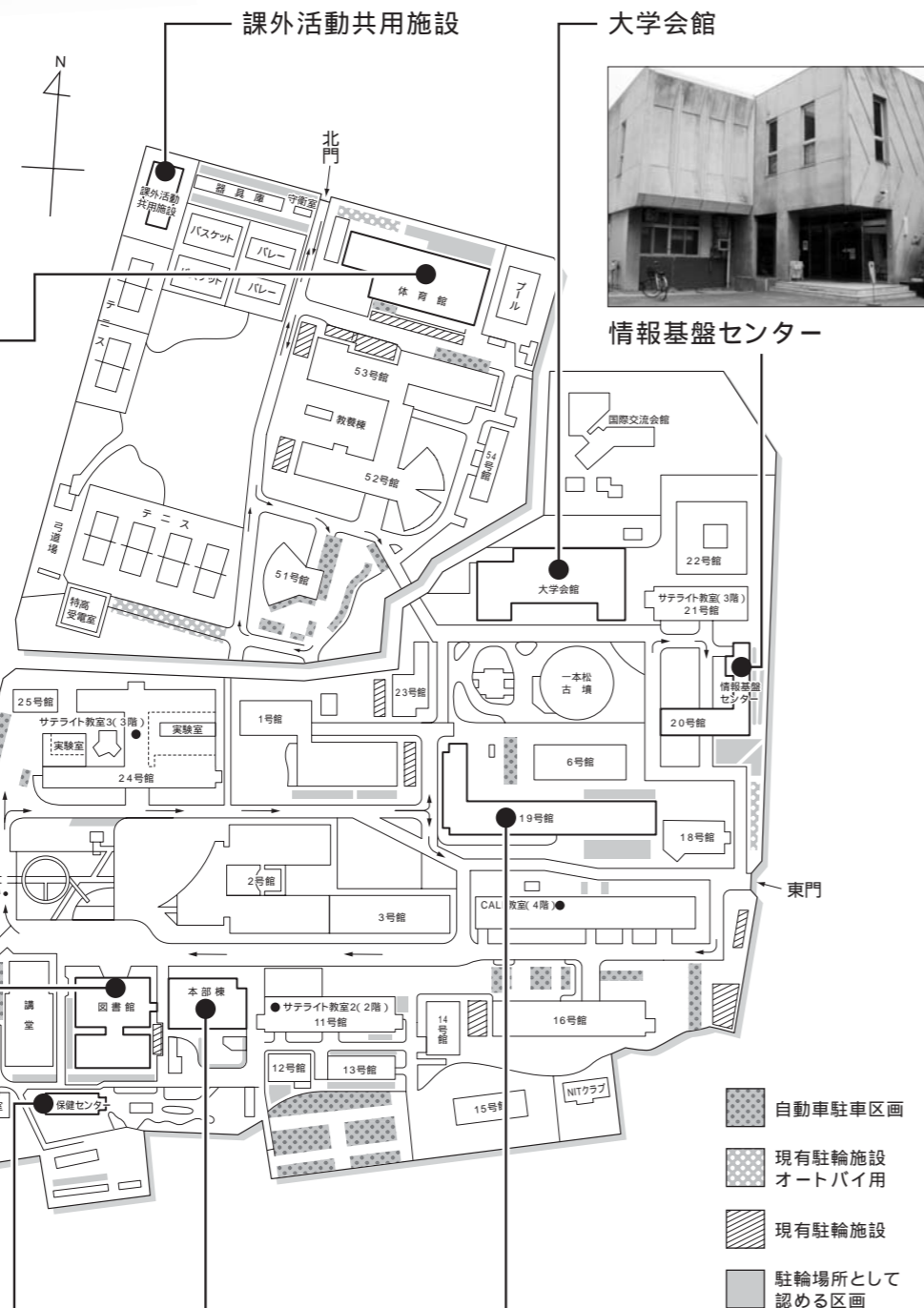
正門



図書館



保健センター



- 自動車駐車区画
- 現有駐輪施設  
オートバイ用
- 現有駐輪施設
- 駐輪場所として  
認める区画



本部棟



19号館( 学生センター )

## 学生センター案内

### 学務課

#### 修学指導担当窓口

- なんでも相談窓口
- 休学、退学等願
- 単位認定
- 教員免許

#### 学務担当窓口

- 履修関係
- インターンシップ
- 研究生、科目等履修生、聴講生  
( 教育課程、時間割 )
- 研究室
- 講義室

#### 学務情報担当窓口

- 各種証明書
- 学生証
- 学業成績の照会

#### 企画管理担当窓口

- 授業評価
- 大学院学生担当( 論文申請、履習登録等 )

履修登録は、各学期ごとに授業開始後2週間以内に行うようにし、履修登録後は、履修登録確認表により、登録内容の確認を必ず行ってください。  
学生証は、定期試験等を受検するときには、机上に置くことになっているので、注意してください。  
有効期限の切れた学生証では、各種証明書の発行は受けられません。

### 入試課

- 入学試験関係( 学部・大学院 )

### 国際交流課

- 海外留学
- 外国人留学生関係
- 外国人留学生対象の奨学金

### 第二部

- 第二部事務室学生窓口

### 証明書自動発行機により発行する証明書の種類

- 学割証
- 在学証明書
- 成績証明書
- 成績、卒業( 修了 )見込証明書
- 卒業( 修了 )見込証明書
- 健康診断証明書

### 学生センター窓口案内

学生センターは12頁のキャンパス・マップの19号館2階の中にあります。

ただし、入試課、第二部事務室は19号館1階の事務室。国際交流課は本部棟1階にあります。

お知らせは、電子掲示板と既設の掲示板で行います。  
1日1回必ず見るようにして下さい。

### 学生課

#### 1番窓口

- 通学証明書
- 変更届( 本人住所、家族住所等 )
- 遺失、拾得物
- 課外活動
- ( 施設使用、物品貸出 )
- 木曾駒高原セミナーハウス

#### 2番窓口

- 学生寮
- 後援会
- 奨学金( 日本学生支援機構 )除く

#### 3番窓口

- 日本学生支援機構奨学金
- アルバイト

#### 4番窓口

- 授業料・入学料免除
- 学災保険

#### 5番窓口

- 就職関係

授業料免除、日本学生支援機構奨学金、各種奨学金の募集は掲示でお知らせしますので、見落とさないように気をつけてください。



## 2006年度キャンパスダイアリー



4月	入学式(4/6) 新入生オリエンテーション(4/5~6) 入学料、前期分授業料免除申込み受付(新入生) 前期授業開始、履修登録期間 日本学生支援機構奨学金申込受付 (学部生・大学院生在学採用) 定期健康診断(4/26~28)	10月	後期授業開始 履修登録期間
5月		11月	本学記念日(11/1) 霜月祭
6月	工大祭本祭典(6/16~17) 学生大会(第一部学生自治会) 東海地区国立大学体育大会(6/24~25)	12月	東海地区国立大学文化祭(12/2~3) 学生大会(第一部学生自治会) 冬季休業
7月	東海地区国立大学体育大会(7/1・2・7・8)	1月	大学入試センター試験(1/20~21)
8月	夏季休業 クラブ活動リーダートレーニング	2月	卒業研究・修士論文発表会 前期分授業料免除申込み受付(在学生)
9月	夏季休業 後期分授業料免除申込み受付 日本学生支援機構奨学金申込受付(大学院予約採用)	3月	学位記授与式(3/24)

### 編集後記

大学に残るものにとって3月、4月は社会に旅立ってゆく学生達の将来の幸せを祈りながら、新しい出会いに少し期待を膨らませる、複雑な心境になる季節です。新入生の皆さんにとって、大学は将来を見据えて専門知識を身に付ける場であると共に、長い人生の中で新しい出会いを通して、価値観・人生観を形成する場でもあります。何年後かに訪れる卒業のときに、胸を張って社会へ出て行くことができるよう、大きな流れに身を任せることなく、積極的に大学生生活を送ってください。

(H.M)

4月になり、今年も新人と呼ばれる人々が、ここかしこにあふれる季節となった。キャンパス内でも美しい新緑がキラキラと輝き、新人を歓迎しているかのようだ。研究室も、多くの大学院生を迎え、若返ったように感じられる。大学も新しい力がみなぎっている。

今号は新入生特集です。新入生の若い息吹で大学がますます輝けるようになって欲しいものです。

(Y.T)

学園だよりについてのご意見、ご提案等ございましたら何でもどうぞ。  
宛先アドレス [gakuseika@ml.nitech.ac.jp](mailto:gakuseika@ml.nitech.ac.jp)